

平成20年3月

下野市

思いやりと文化で育る  
新生文化都市

# 下野市総合計画

2008 ▶ 2015

[平成20年度]

[平成27年度]

基本構想 ▶ 2008~2015

前期基本計画 ▶ 2008~2011

## 下野市民憲章

わたしたちの郷土 下野市は、姿川と田川が生んだ豊かな土壌と、水・ひかり・風のおだやかな自然環境に恵まれています。

先人達は、ここに美しい田園の景観や古い歴史と伝統をはぐくみ、継承してきました。

わたしたちは、このふるさとを愛し、薰り高い文化を育て、住みよい田園都市をめざして、ここに憲章を定めます。

- 1 自然を大切にしみどりあふれる美しいまちをつくります
- 1 いのちを尊び心の通う明るいまちをつくります
- 1 みんなで学びあい文化のかおるまちをつくります
- 1 働くことをよろこびくらし豊かなまちをつくります
- 1 力をあわせ夢がひろがるたのしいまちをつくります



市の木「けやき」



市の鳥「うぐいす」



市の花「ゆうがお」



## はじめに

このたび、下野市における平成20年度から平成27年度までの8年間の行政運営の柱として「下野市総合計画」を策定いたしました。この「下野市総合計画」は、平成18年1月10日、南河内町、石橋町、国分寺町の3町合併により誕生した下野市にとって、初めての総合計画となります。

本計画の策定にあたっては、合併後の下野市がより豊かで活力ある新しいまちとなるための指針として定められた「新市建設計画」を基本としながら、少子・高齢化の進行など、社会情勢・課題に対応する視点や、市民参画の視点などを重視しながら取り組んでまいりました。

さらに、地方自治体に求められる施策・事業がますます多様化しつつあることから、「あれもこれも」同じように施策を行なうという姿勢を転換し、「あれかこれか」を取捨選択するという考えの下で議論を重ねてきました。

その結果、本計画は従来 of 総合計画のようにとかく総花的で具体的表現に欠け「何を行おうとしているのかわからない」「策定した後に役立てられることが少ない」といったことがないよう配慮しながら、下野市独自のスタイルで完成いたしました。

今後は、この総合計画をしっかりと受け止め、掲げられている各施策を着実に実行することが大切です。そして、本当に住んで良かった、住んでいることを誇りに思える、そのような下野市のまちづくりを目指し邁進してまいりたいと思います。

おわりに、本計画の策定にあたりまして、ご意見、ご提言をいただきました多くの市民の皆さま、総合計画審議会、総合計画懇話会など関係者の皆さまに、心からお礼を申し上げます。

平成20年3月

下野市長 広瀬 寿雄

# CONTENTS

もくじ

## 基本構想

序論	1
1 計画策定の趣旨	1
2 総合計画策定の基本的な考え方	2
3 計画の構成・計画期間	2
下野市の現状と将来見通し	3
市民参画	10
1 市民意識調査	11
2 総合計画懇話会	15
3 市民参画の総括	17
下野市の将来像	18
土地利用方針	19
施策の展開方向	21
施策大綱	24
行政運営の方針	30

SHIMOTSUKE CITY

## 前期基本計画

序 論	33
1 基本計画とは	33
2 下野市の基本計画の特徴	33
3 満足度の考え方	34
4 施策・事業の優先度設定	34
施策の概要	36
A：心豊かに暮らせる創造と躍進のまち	
1 みんなで学び文化を育むふれあいのまちづくり	36
2 知恵と意欲で創造性豊かなまちづくり	44
3 都市と田園が共生する快適な環境で躍進するまちづくり	52
B：心安らかに暮らせる安全・安心なまち	
4 安心して暮らせる健康で明るいまちづくり	58
5 豊かな自然と調和した快適で安全なまちづくり	68
6 市民と行政の協働による健全なまちづくり	75

## 附属資料

総合計画の補足資料	81
1 下野市財政のすがた	81
2 個別計画の策定状況	82
3 計画、進行管理の流れ	83
4 事務事業評価シート	84
策定の方針及び経緯	86
1 策定方針	86
2 策定経緯	91
総合計画審議会	93
総合計画懇話会	97
総合計画関連用語集	99